

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI（研究成果の社会還元・普及事業）を実施しました。

7月26日、8月2日の両日、本学において「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI（研究成果の社会還元・普及事業）」を実施しました。

この事業は、研究機関で行っている最先端の科学の研究成果について、児童・生徒の皆さんが、直に見る、聞く、ふれることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムで、本学では、独立行政法人日本学術振興会の委託事業として採択を受け『心臓と血管の形づくりと病気～医学研究と診療の両面から～』（実施代表者：循環器システム医科学 中川修教授、7月26日 20名受講）と『命を産み出す子宮とそれを蝕む病～原因からその予防法を一緒に考えてみよう～』（実施代表者：産婦人科学 小林浩教授、8月2日 19名受講）と題して実施しました。



循環器システム医科学のプログラムでは、どのように心臓や血管が形づくられるのか、また先天性心疾患や成人の心臓や血管の機能異常について、大学医学部で日頃行われている研究や診療を実際に体験することで、生命の尊さを学び、医学を身近に感じることができました。

産婦人科学のプログラムでは、子宮と卵巣の機能を学び、シミュレーション機器を用いて子宮で育つ胎児画像を見ることにより「子宮を大切に思う心」を芽生えさせ、その大切な子宮を奪いかねない子宮頸がんから「どのように守るか」を自ら考えました。



すべてのプログラムが終了した後、受講生一人一人に未来にはばたく知識を取得した証として、修了証書「未来博士号」が授与されました。

